

島を含める」と、玄葉光一郎外相は米政府と「累次確認している。私とクリントン国務長官との間で確認されている」と語った。いずれも民主党の川上義博氏

で党が分裂したことに、首相は「代表として深く反省し責任の重さを痛感している。(法案)審議を含め、一致結束できるよう全力を尽くしたい」と述べ、参院に成立させていただいたい」として野党に協力を呼びかけた。

関電の節電 10% 総力

学生が活性化の推進力

ニュー
タウン
50年、再生へ



明舞団地の自治会副会長になった神戸学院大の紙野裕和さん(右)と高橋宏彰さん=22日午後、神戸市垂水区、新井義顕撮影

3月、神戸市垂水区と兵庫県明石市にまたがる明石舞子団地(明舞団地)に、大学生の自治会副会長が生まれた。神戸学院大学3年の紙野裕和さん(20)と高橋宏彰さん(21)。「いいんちやうか」「がんばれ」。団地の集会場で拍手に押され、2人は「やります」。

1部屋を共同で借りて住む。団地を活性化させようと、県営住宅に特例で学生を入れさせた第1号だ。自治会は7割以上が高齢者。2人は各戸を回つて自治会費を集め、草刈りや清扫にもどんどん参加する。紙野さんは「元気な人が多

くので圧倒される」。自治会長の秋岡智範さん(36)は「高齢化で自治会金存続が危ぶまれる中、2人の活躍と刺激は想像以上」と言う。活性化が叫ばれても、担い手がない。どこのニュータウンも抱える難題だ。

住宅改修の臨時相談窓口を

開いた。糟谷佐紀・准教授が「実践で住民のニーズをつかんで」と勧めた。

同じ日、近くの空き店舗の前で朝市が開かれた。団地の中でもとれた新鮮な野菜を売る試み。兵庫県立大学院環境景観マネジメント研究科の提案だ。

リーダーの院生、山崎有美子さん(23)はプランターや農園で野菜を作る住民に目をつけた。「売れるのか」と半信半疑の住民を巻き込むため実行委員会を作り、企画から話し合った。

■ ■ ■

かつて「東洋」と言われた東京都板橋区の高島平団地。その一角に、隣接する大東文化大学が「コミニテイカフエ」を設けたのは2008年だった。

大東大は文部科学省の財政支援を受け、高島平団地で再生プロジェクトを取り組んできた。その柱が、カ

ー・専任講師は語る。「続け家賃捻出に頭を悩ます。30人いた入居学生は10人ほどに終わって財源がなくな打ちは切つた。ピーク時に約30人いた入居学生は10人ほどに。カフエも月12万円の

交流事業は今、岐路に立つ。文科省の支援が10年3月に終わって財源がなくな打ちは切つた。ピーク時に約30人いた入居学生は10人ほどに。カフエも月12万円の

米国のフリーマンは、朝永振一郎博士ノーベル物理学賞受賞者の樺からもれる。偉大な物理学者米国人の多くが受けていた。同じように「肩と目されていく例目思つていたら、教員」「案内をもうい辭せ」と評論家の立花隆也

は、朝永振一郎博士ノーベル物理学賞受賞者の樺からもれる。偉大な物理学者米国人の多くが受けたので驚きました。思つたのは、動物の立花隆也さん(59)が東大晉昇任したことを受けた祝辭

で、「何をしてもこの国会に成立させていただいたい」として野党に協力を呼びかけた。

(佐藤善二)

論説委員室から

東大教授の条件

米国のフリーマンは、朝永振一郎博士ノーベル物理学賞受賞者の樺からもれる。偉大な物理学者米国人の多くが受けたので驚きました。思つたのは、動物の立花隆也さん(59)が東大晉昇任したことを受けた祝辭

で、「何をしてもこの国会に成立させていただいたい」として野党に協力を呼びかけた。

(佐藤善二)